

冬の沖縄で体験学習

沖縄の三日間

町教育委員会主催の児童・生徒県外研修が12月25日から27日までの2泊3日の日程により沖縄県で行われました。この研修に参加した子供たちの、美しい自然に感動したり貴重な体験・思い出などを紹介します。



横芝小5年 千葉 智仁



ぼくは、沖縄に行けることになったとき、うれしかったです。

「ヤッター！沖縄に行ったら何やろうかな。」

いざ、行ってみると暑いです。

一日目は、いろいろな家を見たり、さとうきび畑を見たりしていたら、あつというまに時間が過ぎてしまいました。

川平湾にすぐ着いてしまいました。海のいろいろな所を見ました。「サンゴ」、も

「アンパンマン岩」も「魚」もきれいでした。次にサイクリングで砂浜に寄って「星の砂」を探しました。でも、

なかなか無くてビックリしました。砂浜の砂が全て「星の砂」だと思っていたからです。

「こんなに、少ないんだ。」と、ビックリしてしまいました。

2日目は、西表島の大原港でカヌーで6キロ移動しました。その後、マンングロープやサキシマスオウノキを見ました。すごい大きさにビックリしました。次に由布島に行き

ました。水牛で由布島に行きました。水牛には名前があり、ぼくたちの乗った水牛の名前は、「由太郎」でした。

由太郎の飼い主の人が「三線」で「島人ぬ宝」をひいてくれました。上手でした。

三日目は、「鍾乳洞」に行きました。鍾乳洞の中は、とてもきれいでした。岩の一つ一つに名前がありました。ぼくもよくわからない岩にかつてに名前をつけました。おもしろかったです。

その後、飛行機に乗りバスに乗って、無事家に帰ることができました。

「児童・生徒県外研修は、とても良い研修になりました。」

ありがとうございます。



▲国指定天然記念物日本最大の「サキシマスオウノキ」

仲間川でのカヌー体験



上塚小5年 伊藤 麗

私は、12月25日から2泊3日で、横芝町児童・生徒県外研修の研修生として、「竹富島」「石垣島」「西表島」へ行きました。

サイクリングやグラスボートにも乗りましたが、なかでも楽しかったのは、仲間川での「カヌー体験」です。

その日は逆流で、追い風だったので、こぐのは、楽でした。川は、底が見えるくらい透きとおっています。川の両わきは、マンングロープが生えていました。実際に、マンングロープという木はありませんが、水辺に生える木、全般をマンングロープといいます。根の形も様々で仲間川で見られるマンングロープは5種類で、その5種類が一目に見られるところもあります。カヌーをこいだ途中、干かたで、動植物の観察をしていると、「ミナミコメツキガニ」という、前にも歩けるカニがいました。